学校番号	１０１

令和８年度　教養科

教科	教養	科目	第一言語Ｃ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・母国語の文献等を活用し、生徒の母国語の活用能力の向上を目ざす
・母国語での作文や討論等で思考を深め想像力を高め、日本語の学習の伸長にもつなげる
・出身地域の歴史や文化、時事ニュース等を学びその地域の知識を増やし理解を深める
・多文化共生社会をともに作っていく一員として、まわりの人たちに自分の国について伝える
・プレゼンテーションや交流授業等を通して、コミュニケーション能力や表現力を高める
・上記の活動を通して外国にルーツのある生徒たちのアイデンティティの保持伸長につなげる
・学習したことの確認として授業内での小テストや年間２回の定期テストを実施。また調べたものを授業内で発表し評価につなげる

2　学習の到達目標

・生徒の能力に応じて母国語の活用能力を高める
・日本語の学習の伸長につなげるように、母国語での作文や討論等を取り入れる
・出身地域に関することに触れ、出身国の総合的な情報を取り上げ知識を増やす
・多分共生社会をともに作っていく一員として、自分の国のことをまわりに伝えるコミュニケーション能力や表現力をつける

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・母語による作文や、文法事項を学習する ・出身地域の歴史や文化について、母語で書かれた新聞や書物などを講読する	・母語で書かれた新聞や書物などを読み、関心のあるトピックを選定し、クラス内で発表をする ・インターネットを利用して、出身国の現在の状況について学習し、それに対する自分の意見をまとめる ・自分の国について、スライドやプリントにまとめ、まわりの人たちに伝える	・同じルーツの生徒や、ルーツの異なる生徒とお互いの意見を発表したり交流したりすることを通して、他者の感じ方を理解し、相手を許容する心を育てる
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	自分の国と日本について知る①	・母国語での文学作品等を読み内容を理解する ・母国語で出身地域の歴史や文化、時事NEWSなどを読んだり聞いたりして理解する ・読んだり聞いたりしたものについて自分の考えをまとめ、他者に伝えたり、他者の意見を聞いたりする ・出身地域と日本との似ているところ、似ていないところを調べて発表する	a:文献やNEWSで聞いた語彙が理解できている 日本語の物語を的確に自分のルーツのある言葉で表現できている b:内容から考察ができて、自分の意見をまとめて伝えられる c:自分自身で意欲的に取り組み、期限をまもって課題を提出している	小テスト 定期考査	観察 課題 発表	観察 態度
2学期	自分の国と日本について知る②	・母国語での文学作品等を読み内容を理解する ・母国語で出身地域の歴史や文化、時事NEWSなどを読んだり聞いたりして理解する ・読んだり聞いたりしたものについて自分の考えをまとめ、他者に伝えたり、他者の意見を聞いたりする ・出身地域の中にある日本について調べ紹介する	a:文献やNEWSで聞いた語彙が理解できている 日本語の物語を的確に自分のルーツのある言葉で表現できている b:内容から考察ができて、自分の意見をまとめて伝えられる c:自分自身で意欲的に取り組み、期限をまもって課題を提出している	小テスト 定期考査	観察 課題 発表	観察 態度
3学期	3年間のふりかり	・3年間の高校生活をふり返り、母国語で思いを語り、将来の展望について発表する	a:自分の思いを母国語でまとめて文章にできる b:自分の思いをまとめて伝えられる c:自分自身で意欲的に取り組み、期限をまもって課題を提出している	小テスト	観察 発表	観察 態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度